



2023年1月31日

株式会社 阿波銀行

有限会社ロータス中央の「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、有限会社ロータス中央（代表取締役 長元 一史、本社：徳島県吉野川市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	有限会社ロータス中央
所在地	徳島県吉野川市山川町川田 640 番地の 4
代表者	長元 一史
業種	自動車販売及び修理業
設立	1972 年 8 月 1 日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。



有限会社ロータス中央 代表取締役 長元 一史

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
環境・経済	環境配慮型サービス・製品の提供	持続可能な社会の実現のため、環境配慮型製品サービスの提供を推進します。	① (1)廃棄物の発生防止、再利用、再生利用に努め廃棄物を削減 (2)EV・PHEV等の低燃費でCO2排出量の少ない車の普及に努める (3)車検申請等各業務のDX化に取り組みペーパーレス化の推進		
			② (1)リサイクル商品、リユース用品の使用を50%以上 (2)EV・PHEV等の販売を30%以上 (3)DXによるペーパーレス化50%以上		
社会・経済	社内の声の把握	一体感のある経営を目指して社員の声を積極的に収集し、改善検討を通してスパイラルアップする組織を目指します。	① (1)多様な人材採用（女性の活躍・外国人労働者の活躍） (2)社員との定期的なコミュニケーションにより社内の取組改善を図る (3)就業規則見直し・定期的リニューアル体制に対応		
			② (1)女性・外国人労働者の従業員割合を50%以上 (2)月1回 (3)2024年までに見直し、その後年1回見直し		
環境・社会・経済	社会課題解決に資するサービス開発	SDGsのターゲットやゴールと自社事業のつながりに関して理解を深め、今後のSDGsに貢献するサービスの開発に努めます。 自社のBCP対策(事業継続計画を作成)をし、緊急事態時に備え地域の災害対応に貢献する。	① (1)ロータス徳島(協)とのパートナーシップを構築しSDGsの勉強会を実施 (2)サービス・SDGs向上のための社内会議を実施 (3)気候変動に伴う自然災害に対し地域サービス機能の強化を保険会社とともに進める		
			② (1)年1回 (2)月1回 (3)災害マップの配布		
環境・社会	美しい河川・海洋環境を次世代へつなぐ活動	エコバック・マイボトル等の使用等、自然環境に配慮したライフスタイルの実践、山地森林河川を含む水に関する生態系の保護に取り組む。	① (1)新車購入プレゼント(エコバック、マイボトル)の実施と利用推奨 (2)店舗近隣の清掃・美化活動の取組 (3)産業廃棄物処理サイクルの分野の関与を継続し、地域社会の一員として持続可能性向上に寄与する		
			② (1)即日実施 (2)月1回実施		



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。

